



② 実績・成果

指標名称 (前期)			H28 (前期1)		H29 (前期2)		H30 (前期3)		R1 (前期4)		R2 (前期5)		R3 (後期1)		R4 (後期2)		R5 (後期3)		R6 (後期4)		R7 (後期5)			
			数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
主な活動指標	ローカルベンチャースクール応募者数 ※単年度実績 ※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する	目標	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人
		実績	6	人	21	人	15	人	8	人	9	人	15	人	12	人	16	人	17	人	11	人	11	人
		達成度	60	%	210	%	150	%	80	%	90	%	150	%	120	%	160	%	170	%	110	%	110	%
主な成果指標	ローカルベンチャースクール採択者数のうち雇用創出をした事業者数(正社員、アルバイト、業務委託等を含む)(R7.12現在)※単年度実績 新規事業体数(起業数) ※単年度実績 ※起業化支援事業補助金、新規事業開発補助金、協働型地域おこし協力隊制度活用事業者数(ローカルベンチャースクール参加者を含んでいる) ※数値化できない成果や指標の変更等について記載する	目標	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	6	社	6	社	6	社	6	社	6	社	6	社
		実績	—	社	4	社	5	社	6	社	3	社	5	社	6	社	6	社	7	社	—	社	—	社
		達成度	—	%	133	%	167	%	200	%	100	%	83	%	100	%	100	%	117	%	0	%	0	%
ローカルベンチャースクール採択者(起業型地域おこし協力隊の翌年度委嘱者)による売上実績 ※純粋に本事業により産み出された単年度売上実績	17,500千円 (2事業者)	31,100千円 (5事業者)	40,000千円 (8事業者)	41,000千円 (8事業者)	43,820千円 (12事業者)	71,650千円 (13事業者)	73,230千円 (16事業者)	179,141千円 (16事業者)																

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	総合計画に則し、町内外の方を対象に起業支援を実施し公平である。また複数のアプローチ手段及び目標を持つ事業を一体的に取り組みことで相乗効果が生み出されている。このことから十分な知見を持っている事業者に委託できていると言える。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	本事業の継続により地域内の起業家人材の層が厚くなり、起業家による連携事業も起き、さらに起業家が事業を拡大し雇用を生み産業界になり始めている。またこの取組や状況が地域内外に少しずつ伝わり、厚層を拠点とした起業家人材のさらなる創出及び関係人口の創出につながり、引き続き成果につながる基盤が作られている。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	ローカルベンチャー育成・誘致、情報発信、関係人口創出等を一括して実施することで、各事業間の相乗効果を生んでおり費用対効果は適正である。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等 (Action)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持
理由	新規事業創出に貢献しており、新規事業による雇用が生まれ始めていることから今後も必要な事業。情報発信だけでなく起業家との交流の機会を設け町内への理解を進めることで、新たな町民による挑戦の芽が生まれている。				
課題および改善提案	社会の変化により、地域に移住しない起業、時間や場所に縛られない働き方が生まれている。また、本事業により起業した事業者が成長していることから、以下の点により注視して事業を継続する。 ・起業後のサポート(事業継続、組織づくり、金融等) ・こんなサービスがあったらいいな、何かやってみたいという気持ちを応援し合うコミュニティづくり ・二地域居住者や子育て中の女性等に向けた、多様なワークスタイルを叶えるための支援				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価 (本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持	意見
						担当課の評価に対して異存なし。

7 外部評価 (本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 8 年 1 月 27 日	予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持
付帯意見 (全体意見)	○起業家支援や新規事業創出において着実な成果を上げている重要な事業である。 ○地雇用創出や売上拡大の要件について、小規模事業者の実態を踏まえた現実的な目標設定への見直しが必要である。 ○商工会会員数の増加や地域行事の担い手創出など、地域コミュニティ活性化に寄与している。 ▶以上から、予算・サービス・方向性すべてを現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。						
その他意見 (個別意見)	○起業家同士のコミュニティ形成を促進し、相互支援の仕組みづくりが望ましい。 ○起業後の継続的な支援体制(資金・販路・組織・人材)の構築が望ましい。 ○成果については、定量化(売上・雇用)と定量化(ネットワーク、連携件数)を併用して可視化することが望ましい。 ○二地域居住・子育て期の女性・関係人口に届く柔軟な働き方支援や交流機会の強化が期待される。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 8 年 3 月 18 日
○雇用創出や売上拡大の目標設定、および成果の定量化・定性化については、第5次総合計画の策定にあたり改善を図ってまいります。 ○ご意見をいただいた起業後の継続的な支援体制については、起業家及び既存事業者コミュニティの形成と相互支援の仕組みづくりを進めるとともに、行政・商工会・金融機関等の関係機関が連携した支援体制を構築してまいります。 ○二地域居住者・関係人口・子育て期の女性に向けた柔軟な働き方支援や交流機会の強化については、他の関係部署と連携し、それぞれのニーズを丁寧に把握しながら、求められる交流の機会を提供してまいります。 これらの取り組みを通じて、より多様な方々の挑戦を後押しすることにより人材を育成し、地域コミュニティの活性化と持続可能な発展に貢献できるよう努めてまいります。	